

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2021年4月19日まで（2011年5月11日設定）	
運 用 方 針	主として円建ての外国投資信託であるピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD） - J P Y 分配型の投資信託証券への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行い、値上がり益の獲得をめざします。また、当該外国投資信託への投資を通じて、原資産通貨から豪ドルに対して為替取引を行います（このため、基準価額は豪ドルの対円での為替変動の影響を受けます。）。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ピクテ投信投資顧問株式会社に委託します。	
主要運用対象	ピクテ・グローバル・インカム株式オープン通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD） - J P Y 分配型およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD） - J P Y 分配型	新興国を含む世界の高配当利回りの公益株を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞ （毎月分配型）

第53期（決算日：2015年11月18日）

第54期（決算日：2015年12月18日）

第55期（決算日：2016年1月18日）

第56期（決算日：2016年2月18日）

第57期（決算日：2016年3月18日）

第58期（決算日：2016年4月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）」は、去る4月18日に第58期の決算を行いましたので、法令に基づいて第53期～第58期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

投資対象ファンドのご報告

◇ピクテ・グローバル・セクション・ファンド ― グローバル・ユーティリティーズ・ エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP AUD) - JPY 分配型	16
◇マネー・マーケット・マザーファンド	22

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 税 分	価 込 配	額 み 金	期 騰 落	率 中 率	債 組 入	券 比 率	債 先 物	比 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
	円			円		%		%		%	%	百万円
29期(2013年11月18日)	8,641			80		0.9		0.1		—	98.8	1,421
30期(2013年12月18日)	8,142			80	△	4.8		0.1		—	98.7	1,324
31期(2014年1月20日)	8,352			80		3.6		0.1		—	98.7	1,356
32期(2014年2月18日)	8,451			80		2.1		0.1		—	98.8	1,327
33期(2014年3月18日)	8,533			80		1.9		0.1		—	98.0	1,268
34期(2014年4月18日)	8,994			80		6.3		0.1		—	98.7	1,362
35期(2014年5月19日)	8,936			80		0.2		0.1		—	98.7	1,331
36期(2014年6月18日)	9,150			80		3.3		0.1		—	98.7	1,371
37期(2014年7月18日)	9,020			80	△	0.5		0.1		—	98.6	1,368
38期(2014年8月18日)	8,802			80	△	1.5		0.1		—	98.9	1,387
39期(2014年9月18日)	9,170			80		5.1		0.1		—	98.7	1,620
40期(2014年10月20日)	8,230			80	△	9.4		0.1		—	98.7	1,509
41期(2014年11月18日)	9,322			80		14.2		0.1		—	98.9	1,682
42期(2014年12月18日)	8,473			80	△	8.2		0.1		—	99.0	1,554
43期(2015年1月19日)	8,635			80		2.9		0.1		—	98.8	1,628
44期(2015年2月18日)	8,436			80	△	1.4		0.1		—	98.7	1,663
45期(2015年3月18日)	8,305			80	△	0.6		0.1		—	99.1	1,538
46期(2015年4月20日)	8,515			60		3.3		0.1		—	98.7	1,624
47期(2015年5月18日)	8,661			60		2.4		0.1		—	98.7	1,646
48期(2015年6月18日)	8,240			60	△	4.2		0.1		—	98.8	1,481
49期(2015年7月21日)	8,059			60	△	1.5		0.1		—	98.7	1,385
50期(2015年8月18日)	7,954			60	△	0.6		0.1		—	98.7	1,421
51期(2015年9月18日)	6,953			60	△	11.8		0.1		—	98.8	1,207
52期(2015年10月19日)	7,174			60		4.0		0.2		—	98.8	1,142
53期(2015年11月18日)	7,063			60	△	0.7		0.2		—	98.9	1,077
54期(2015年12月18日)	6,972			60	△	0.4		0.2		—	98.9	1,018
55期(2016年1月18日)	6,194			60	△	10.3		0.2		—	98.6	897
56期(2016年2月18日)	6,389			60		4.1		0.1		—	98.7	920
57期(2016年3月18日)	6,934			60		9.5		0.1		—	98.8	988
58期(2016年4月18日)	6,870			60	△	0.1		0.2		—	98.7	885

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ(マネーボールファンドを除く)は、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行うとともに、原資産通貨から各ファンドの対象通貨に対して為替取引を行うことで、信託財産の成長をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率ー売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率			
第53期	(期 首)	円	%	%	%	%
	2015年10月19日	7,174	—	0.2	—	98.8
	10月末	7,018	△ 2.2	0.2	—	98.7
	(期 末)					
第54期	2015年11月18日	7,123	△ 0.7	0.2	—	98.9
	(期 首)					
	2015年11月18日	7,063	—	0.2	—	98.9
	11月末	7,102	0.6	0.1	—	98.9
第55期	(期 末)					
	2015年12月18日	7,032	△ 0.4	0.2	—	98.9
	(期 首)					
	2015年12月18日	6,972	—	0.2	—	98.9
第56期	12月末	6,978	0.1	0.2	—	98.8
	(期 末)					
	2016年 1 月18日	6,254	△10.3	0.2	—	98.6
	(期 首)					
第57期	2016年 1 月18日	6,194	—	0.2	—	98.6
	1 月末	6,600	6.6	0.2	—	98.9
	(期 末)					
	2016年 2 月18日	6,449	4.1	0.1	—	98.7
第58期	(期 首)					
	2016年 2 月18日	6,389	—	0.1	—	98.7
	2 月末	6,525	2.1	0.1	—	98.6
	(期 末)					
第59期	2016年 3 月18日	6,994	9.5	0.1	—	98.8
	(期 首)					
	2016年 3 月18日	6,934	—	0.1	—	98.8
	3 月末	7,124	2.7	0.1	—	98.9
第60期	(期 末)					
	2016年 4 月18日	6,930	△ 0.1	0.2	—	98.7

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

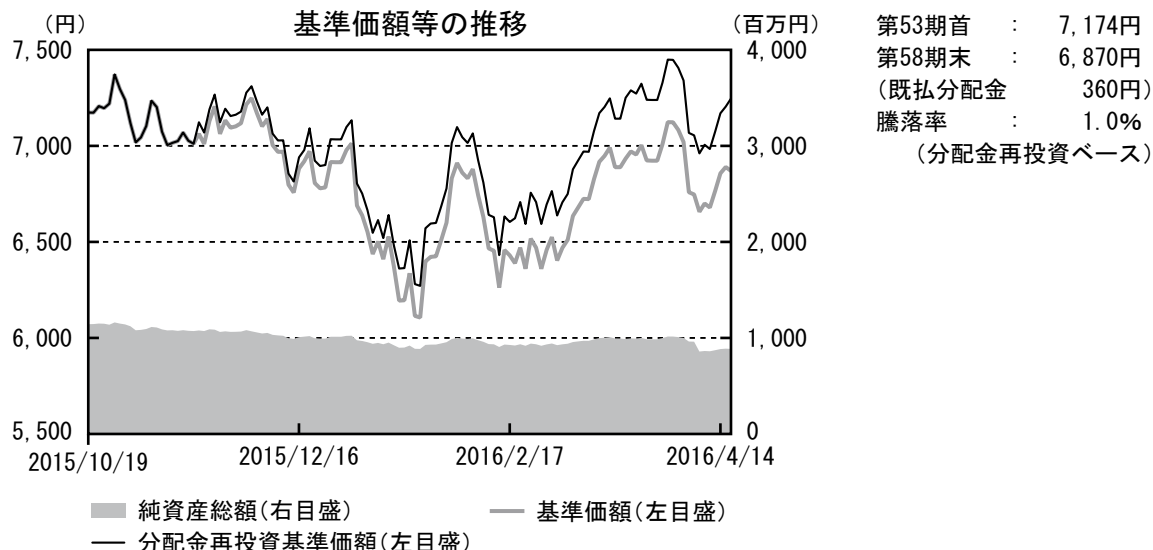
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第53期～第58期：2015/10/20～2016/4/18）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ1.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
---------	--



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有している公益株式が上昇したことに加え、原資産通貨に対する豪ドル買いの為替取引によるプレミアムを享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（ご参考）

株式市況の推移

（当作成期首を100として指数化）

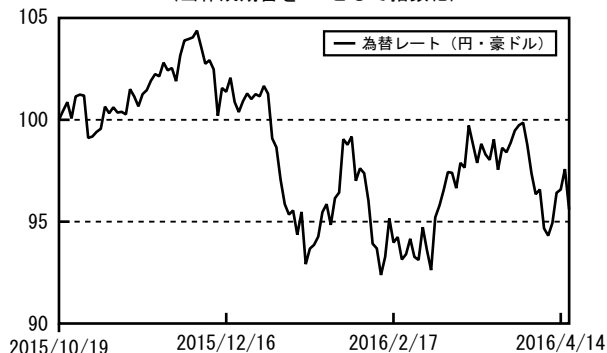


（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）MSCI 世界高配当公益株指数は、世界の公益株の中から、相対的に配当利回りの高い銘柄で構成される指数であり、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

為替市況の推移

（当作成期首を100として指数化）



（第53期～第58期：2015/10/20～2016/4/18）

◎株式市況

- ・当作成期において、グローバル株式市況は上昇しました。
- ・当作成期首から2016年2月中旬までは、原油価格の下落に加え、中東や朝鮮半島における地政学的リスクが高まったことや中国株式市場での売買規制をめぐる混乱を受け、リスク回避の動きが強まったことなどから下落しました。
- ・その後は、原油価格の反発に加え、3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利上げの見送りが決定され、年内の利上げペースが緩やかになるとの見方が強まったことなどから上昇に転じました。

◎為替市況

- ・中国の景気減速などが豪ドル安の要因となり、当作成期を通じて見ると、豪ドルは対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

- ・当作成期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。2016年1月末に日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、日銀当座預金のうち政策金利残高に適用する金利を-0.1%としました。コール・レート（無担保・翌日物）は、当該金利にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、4月18日のコール・レートは-0.074%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）>

- ・当ファンドは、主としてピクテ社の運用する円建て外国投資信託であるピクテ・グローバル・セクション・ファンド ― グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD）- JPY 分配型への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行いました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。当作成期は、豪ドルが対円で下落したものの、保有している公益株式が上昇したことに加え、為替取引によるプレミアムを享受したことなどから基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

<ピクテ・グローバル・セクション・ファンド ― グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD）- JPY 分配型>

基準価額は当作成期首に比べ1.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・保有外貨建て資産において、原資産通貨に対し豪ドル買いの為替取引を行いました。
- ・財務体質が健全であり、持続的な力強いキャッシュフロー創出力により配当利回りが高く、成長性が高いと見られる銘柄を組み入れる運用を行いました。組入比率は高位を維持しました。
- ・個別銘柄では、米国の再生可能エネルギーの設備投資に対する税額控除の延長などが好感された「ネクステラ・エナジー」（米国・電力）などが上昇しました。

◎為替取引によるプレミアム／為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）

- ・豪ドルの短期金利は原資産通貨の短期金利に対して概ね高位で推移したため、これらの通貨間の金利差を背景とした為替取引によるプレミアムは、概ね基準価額に対する上昇要因となりました。なお、原資産通貨の短期金利が低下したのに対して、豪ドルの短期金利は小幅上昇したため、原資産通貨との短期金利差は拡大しました。
- ・当作成期においては、豪ドルが対円で下落したものの、保有している公益株式が上昇したことに加え、為替取引によるプレミアムを享受したことなどから基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.01%の下落となりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は獲得したものの、組入債券の一部が小幅に下落したことなどから基準価額は下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ（マネープールファンドを除く）は、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行うとともに、原資産通貨から各ファンドの対象通貨に対して為替取引を行うことで、信託財産の成長をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日	2016年3月19日～ 2016年4月18日
当期分配金 （対基準価額比率）	60 0.842%	60 0.853%	60 0.959%	60 0.930%	60 0.858%	60 0.866%
当期の収益	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,237	2,281	2,327	2,377	2,431	2,440

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）>

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針にしたがって、引き続き、主としてピクテ社の運用する円建て外国投資信託への投資を通じて世界の高配当利回りの公益株に投資を行い値上がり益の獲得をめざします。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

<ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド ― グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD）- JPY 分配型>

◎運用環境の見通し

- ・中長期的には、電力などの需要拡大や価格上昇が予想されており、世界の公益セクターの事業環境は良好との見方に変更はありません。ただし、短期的には、中国の景気減速懸念と政策動向、米国の利上げペースや日欧の金融政策を巡る不透明感などから株式市況は不安定な動きとなると考えています。

◎今後の運用方針

- ・ポートフォリオにおいては、財務体質が健全で、持続的な力強いキャッシュフロー創出力により配当利回りが高い銘柄の組み入れを継続する方針です。組み入れに当たっては、バリュエーション（投資価値基準）面を考慮しながら、中長期的に成長性の高いと見られる企業などに引き続き注目しています。また、規制変更のリスクが小さい欧州の公益銘柄や、通信銘柄などにも注目しています。
- ・なお、保有外貨建て資産については、原資産通貨に対する豪ドル買いの為替取引を行います。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われますが、デフレ脱却に向けて日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などに投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年10月20日～2016年 4 月18日）

項 目	第53期～第58期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 46	% 0.666	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.322)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.322)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	46	0.668	
作成期中の平均基準価額は、6,891円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月20日～2016年4月18日)

投資信託証券

銘柄		第53期～第58期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP AUD) - JPY 分配型	千口	千円	千口	千円
		5	30,999	38	202,999

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月20日～2016年4月18日)

利害関係人との取引状況

＜ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）＞
該当事項はございません。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

区分	第53期～第58期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 11,206	百万円 3,999	% 35.7	百万円 19,330	百万円 1,999	% 10.3

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

（2016年4月18日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第52期末	第58期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AUD） - JPY 分配型		197	165	874,274	98.7
合 計		197	165	874,274	98.7

（注）比率はピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第52期末	第58期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		2,100	2,100	2,139

○投資信託財産の構成

（2016年4月18日現在）

項 目	第58期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	874,274	97.4
マネー・マーケット・マザーファンド	2,139	0.2
コール・ローン等、その他	20,956	2.4
投資信託財産総額	897,369	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末
	2015年11月18日現在	2015年12月18日現在	2016年1月18日現在	2016年2月18日現在	2016年3月18日現在	2016年4月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,096,799,119	1,037,294,020	913,223,923	940,546,664	1,016,710,739	897,369,679
コール・ローン等	29,174,276	27,199,226	26,002,625	29,848,674	27,432,963	20,956,047
投資信託受益証券(評価額)	1,065,485,477	1,007,955,643	885,082,150	908,558,671	976,138,668	874,274,523
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	2,139,319	2,139,109	2,139,109	2,139,319	2,139,109	2,139,109
未収入金	—	—	—	—	10,999,999	—
未収利息	47	42	39	—	—	—
(B) 負債	19,066,544	18,423,288	15,732,459	19,798,236	28,582,377	11,821,985
未払金	6,999,998	5,000,000	—	6,999,999	7,000,000	2,999,999
未払収益分配金	9,155,295	8,768,478	8,694,515	8,647,540	8,550,849	7,734,219
未払解約金	1,692,969	3,495,984	5,920,086	3,080,284	12,014,825	—
未払信託報酬	1,215,353	1,156,039	1,115,169	1,067,840	1,014,260	1,085,122
未払利息	—	—	—	—	—	29
その他未払費用	2,929	2,787	2,689	2,573	2,443	2,616
(C) 純資産総額(A－B)	1,077,732,575	1,018,870,732	897,491,464	920,748,428	988,128,362	885,547,694
元本	1,525,882,514	1,461,413,089	1,449,085,889	1,441,256,715	1,425,141,595	1,289,036,614
次期繰越損益金	△ 448,149,939	△ 442,542,357	△ 551,594,425	△ 520,508,287	△ 437,013,233	△ 403,488,920
(D) 受益権総口数	1,525,882,514口	1,461,413,089口	1,449,085,889口	1,441,256,715口	1,425,141,595口	1,289,036,614口
1万口当たり基準価額(C/D)	7.063円	6.972円	6.194円	6.389円	6.934円	6.870円

○損益の状況

項 目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日	2016年3月19日～ 2016年4月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	17,004,657	16,408,099	16,403,087	16,435,093	16,347,868	10,008,738
受取配当金	17,003,651	16,407,241	16,402,422	16,434,577	16,347,848	10,008,767
受取利息	1,006	858	665	516	20	—
支払利息	—	—	—	—	—	△ 29
(B) 有価証券売買損益	△ 23,564,379	△ 19,816,744	△ 119,374,860	21,387,470	70,893,158	△ 9,398,460
売買益	640,385	1,089,920	521,728	21,499,923	71,579,071	3,486,628
売買損	△ 24,204,764	△ 20,906,664	△ 119,896,588	△ 112,453	△ 685,913	△ 12,885,088
(C) 信託報酬等	△ 1,218,282	△ 1,158,826	△ 1,117,858	△ 1,070,413	△ 1,016,703	△ 1,087,738
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 7,778,004	△ 4,567,471	△ 104,089,631	36,752,150	86,224,323	△ 477,460
(E) 前期繰越損益金	△ 248,390,468	△ 253,505,413	△ 264,176,925	△ 374,186,525	△ 341,641,842	△ 238,378,644
(F) 追加信託差損益金	△ 182,826,172	△ 175,700,995	△ 174,633,354	△ 174,426,372	△ 173,044,865	△ 156,898,597
(配当等相当額)	(191,859,702)	(184,096,835)	(182,775,431)	(182,090,491)	(180,319,232)	(163,337,760)
(売買損益相当額)	(△ 374,685,874)	(△ 359,797,830)	(△ 357,408,785)	(△ 356,516,863)	(△ 353,364,097)	(△ 320,236,357)
(G) 計 (D + E + F)	△ 438,994,644	△ 433,773,879	△ 542,899,910	△ 511,860,747	△ 428,462,384	△ 395,754,701
(H) 収益分配金	△ 9,155,295	△ 8,768,478	△ 8,694,515	△ 8,647,540	△ 8,550,849	△ 7,734,219
次期繰越損益金 (G + H)	△ 448,149,939	△ 442,542,357	△ 551,594,425	△ 520,508,287	△ 437,013,233	△ 403,488,920
追加信託差損益金	△ 182,826,172	△ 175,700,995	△ 174,633,354	△ 174,426,372	△ 173,044,865	△ 156,898,597
(配当等相当額)	(191,859,702)	(184,096,835)	(182,775,431)	(182,090,491)	(180,319,232)	(163,337,760)
(売買損益相当額)	(△ 374,685,874)	(△ 359,797,830)	(△ 357,408,785)	(△ 356,516,863)	(△ 353,364,097)	(△ 320,236,357)
分配準備積立金	149,520,351	149,341,061	154,440,729	160,626,637	166,172,583	151,250,589
繰越損益金	△ 414,844,118	△ 416,182,423	△ 531,401,800	△ 506,708,552	△ 430,140,951	△ 397,840,912

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首 (前作成期末) 元本額 1,592,865,263円

 作成期中追加設定元本額 16,833,002円

 作成期中一部解約元本額 320,661,651円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6870円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は403,488,920円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日	2016年3月19日～ 2016年4月18日
費用控除後の配当等収益額	15,786,387円	15,249,294円	15,285,369円	15,970,177円	16,157,561円	8,921,393円
費用控除後・繰越欠損金繰填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	191,859,702円	184,096,835円	182,775,431円	182,090,491円	180,319,232円	163,337,760円
分配準備積立金額	142,889,259円	142,860,245円	147,849,875円	153,304,000円	158,565,871円	150,063,415円
当ファンドの分配対象収益額	350,535,348円	342,206,374円	345,910,675円	351,364,668円	355,042,664円	322,322,568円
1万口当たり収益分配対象額	2,297円	2,341円	2,387円	2,437円	2,491円	2,500円
1万口当たり分配金額	60円	60円	60円	60円	60円	60円
収益分配金金額	9,155,295円	8,768,478円	8,694,515円	8,647,540円	8,550,849円	7,734,219円

④ 信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の25の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年4月18日現在）

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(5,461,699千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第58期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,246,350	2,246,584	40.4	—	—	—	40.4
	(2,000,000)	(2,000,115)	(36.0)	(—)	(—)	(—)	(36.0)
金融債券	500,000	500,482	9.0	—	—	—	9.0
	(500,000)	(500,482)	(9.0)	(—)	(—)	(—)	(9.0)
普通社債券	1,477,900	1,483,021	26.7	—	—	—	26.7
	(1,477,900)	(1,483,021)	(26.7)	(—)	(—)	(—)	(26.7)
合 計	4,224,250	4,230,087	76.1	—	—	—	76.1
	(3,977,900)	(3,983,618)	(71.6)	(—)	(—)	(—)	(71.6)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	第58期末		
		額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第585回国庫短期証券	—	500,000	500,016	2016/5/2
第586回国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,062	2016/5/12
第588回国庫短期証券	—	500,000	500,036	2016/5/16
第340回利付国債（2年）	0.1	62,600	62,608	2016/5/15
第342回利付国債（2年）	0.1	100,000	100,050	2016/7/15
第343回利付国債（2年）	0.1	83,750	83,810	2016/8/15
小 計		2,246,350	2,246,584	
金融債券				
い第735号商工債券	0.4	300,000	300,411	2016/8/26
い第731号農林債券	0.75	100,000	100,014	2016/4/27
い第732号農林債券	0.6	100,000	100,057	2016/5/27
小 計		500,000	500,482	
普通社債券				
第490回関西電力	0.718	100,000	100,095	2016/6/20
第355回中国電力	1.52	200,000	201,022	2016/8/25
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,318	2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	201,226	2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,278	2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,628	2016/12/2
第17回ニコン	1.65	100,000	100,268	2016/6/23
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,099	2016/12/2
第156回オリックス	1.14	100,000	100,754	2017/1/27
第17回電源開発	2.07	100,000	100,333	2016/6/20
小 計		1,477,900	1,483,021	
合 計		4,224,250	4,230,087	

国内その他有価証券

区 分	第58期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 499,999	% 9.0

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

フ ァ ン ド 名	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP AU D） - JPY 分配型	マネー・マーケット・マザーファンド
運 用 方 針	主として新興国を含む世界の高配当利回りの公益株に投資し、安定的な収益分配を行いつつ、長期的な元本の成長をめざすことを目的として運用を行います。原則として、電力、ガス、水道、電話、通信、運輸、廃棄物処理、石油供給等の上場企業の株式に分散投資します。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	新興国を含む世界の高配当利回りの公益株	わが国の公社債等
主な組入制限	・同一発行体の発行済証券数の10%を超える証券を保有しません。 ・取得時において同一発行体の発行済証券数の5%を超える証券を保有しません。 ・ヘッジ目的に限らずデリバティブ取引を行うことができます。 ・保有資産に対し、原則として、豪ドル買いの為替取引を行います。	・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決 算 日	原則として毎年12月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分 配 方 針	原則として毎月、配当等収益および売買益より分配を行う方針です。ただし、適正な分配水準を維持するために必要と認められる場合は、分配原資をこれらに限定しません。なお、分配を行わないこともあります。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

損益計算書および純資産変動計算書、投資有価証券明細表はPictet Global Selection Fund Annual Report, including audited financial statements, as at December 31, 2015版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、クラスを合算したサブファンド（ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド）で掲載しています。

(1) 損益計算書

(A) ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド

(2015年1月1日～2015年12月31日)

	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド ーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ カレンシー・ヘッジド・ファンド	米ドル
期首現在の純資産		68,344,929.42
収益		
配当金、正味		2,033,101.95
債券利子、正味		0.00
預金利息		1,011.61
		<u>2,034,113.56</u>
費用		
管理報酬および投資顧問料		210,376.56
預託手数料、銀行手数料、および金利		466,958.36
管理事務費用、サービス報酬、監査費用およびその他の費用		74,713.68
未払年次税		5,514.76
取引手数料		175,061.63
		<u>932,624.99</u>
投資純利益／(損失)		1,101,488.57
投資商品の販売に対する純実現利益／(損失)		1,662,362.96
外国為替の正味実現利益／(損失)		501,997.53
先物為替予約の正味実現利益／(損失)		(3,786,206.02)
先物為替予約での純未実現利益／(損失)		0.00
実現純利益／(損失)		(520,356.96)
正味未実現増価／(減価)の変化：		
－ 投資		(1,783,646.93)
－ 為替予約契約		(143,770.27)
運用の結果としての正味資産の増加／(減少)		(2,447,774.16)
受益証券発行手取額		66,059,524.65
受益証券買戻費用		(64,663,160.48)
分配金の支払		(11,651,793.58)
再評価差額*		(10,819,259.28)
期末現在の純資産		44,822,466.57

*上記の差額は、サブファンドの通貨以外の通貨建ての銘柄をサブファンドの通貨に換算する際に使用する為替レートの変動によるもので、2014年12月31日から2015年12月31日までを対象にしています。

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

26頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・
カレンシー・ヘッジド・ファンド

(2015年1月1日～2015年12月31日)

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド
ーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・
カレンシー・ヘッジド・ファンド

米ドル

資産

投資有価証券取得原価	43,383,586.01
投資にかかる未実現純利益／損失	(43,223.98)
時価での証券投資	43,340,362.03
現金預金	4,787,377.58
預金	0.00
純受け取り配当金	0.00
未収利益、純額	0.00
先物為替予約取引での純未実現利益	0.00
	48,127,739.61

負債

当座借越	3,267,651.82
管理報酬および投資顧問料	12,839.39
未払年次税	1,114.98
先物為替予約取引での純未実現損失	14,495.76
その他の未払報酬	9,171.09
	3,305,273.04

2015年12月31日現在の純資産合計 44,822,466.57

2014年12月31日現在の純資産合計 68,344,929.42

2013年12月31日現在の純資産合計 127,782,417.56

(3) 投資有価証券明細表

(A) ピクテ・グローバル・セレクトジョン・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド

(2015年12月31日現在)

銘柄	保有数	時価 (単位：米ドル)	純資産に対する比率 %
公式に株式上場している、または別の統制市場で処理されている譲渡可能証券			
株式			
<i>オーストラリア</i>			
APA GROUP	85,168.00	539,214.74	1.20
		539,214.74	1.20
<i>バミューダ</i>			
CHEUNG KONG INFRASTRUCTURE HOLDING	62,000.00	574,786.07	1.28
		574,786.07	1.28
<i>ブラジル</i>			
TRACTEBEL ENERGIA	28,600.00	249,037.04	0.56
		249,037.04	0.56
<i>カナダ</i>			
BCE	12,592.00	495,274.23	1.10
PEMBINA PIPELINE	1,976.00	43,290.67	0.10
		538,564.90	1.20
<i>チリ</i>			
ENDESA	402,435.00	498,347.66	1.11
		498,347.66	1.11
<i>フランス</i>			
ENGIE	30,915.00	556,985.17	1.24
SUEZ ENVIRONNEMENT COMPANY	17,304.00	331,133.15	0.74
VEOLIA ENVIRONNEMENT	21,438.00	519,125.08	1.16
		1,407,243.40	3.14
<i>ドイツ</i>			
DEUTSCHE TELEKOM REG.	19,906.00	362,879.46	0.81
E.ON	69,067.00	673,740.63	1.50
		1,036,620.09	2.31
<i>香港</i>			
CLP HOLDINGS	79,000.00	670,209.56	1.50
POWER ASSETS HOLDING	108,000.00	984,518.08	2.20
		1,654,727.64	3.70
<i>インドネシア</i>			
PERUSAHAAN GAS NEGARA 'B'	2,057,100.00	409,728.58	0.91
		409,728.58	0.91
<i>イスラエル</i>			
BEZEQ ISRAEL TELECOMMUNICATION	162,353.00	349,054.50	0.78
		349,054.50	0.78

銘柄	保有数	時価 (単位：米ドル)	純資産に対する比率 %
<i>イタリア</i>			
ATLANTIA	8,311.00	223,038.84	0.50
ENEL	333,580.00	1,423,890.57	3.18
SNAM	185,226.00	981,218.53	2.19
TERNA RETE ELETTRICA NAZIONALE	128,444.00	672,283.86	1.50
		3,300,431.80	7.37
<i>日本</i>			
KANSAI ELECTRIC POWER	19,600.00	237,494.28	0.53
KDDI CORP	27,200.00	712,235.45	1.59
NIPPON TELEGRAPH & TELEPHONE	26,600.00	1,067,974.59	2.38
SHIKOKU ELECTRIC POWER	16,100.00	253,964.18	0.57
		2,271,668.50	5.07
<i>ルクセンブルグ</i>			
SES GLOBAL FDR	11.00	311.42	0.00
		311.42	0.00
<i>オランダ</i>			
KONINKLIJKE KPN NV	146,411.00	559,071.29	1.25
		559,071.29	1.25
<i>ポルトガル</i>			
EDP - ENERGIAS DE PORTUGAL	155,431.00	558,541.69	1.25
		558,541.69	1.25
<i>韓国</i>			
KOREA ELECTRIC POWER	12,848.00	547,864.36	1.22
		547,864.36	1.22
<i>スペイン</i>			
ENDESA	17,441.00	358,519.72	0.80
IBERDROLA	220,356.00	1,583,699.67	3.52
RED ELECTRICA	10,635.00	903,382.44	2.02
		2,845,601.83	6.34
<i>スイス</i>			
SWISSCOM	377.00	191,478.77	0.43
		191,478.77	0.43
<i>タイ</i>			
ADVANCED INFO SERVICE -FGN-	133,900.00	565,591.23	1.26
INTOUCH HOLDINGS -NVDR-	357,958.00	517,265.98	1.15
		1,082,857.21	2.41

銘柄	保有数	時価 (単位：米ドル)	純資産に対する比率 %
<i>イギリス</i>			
INMARSAT	21,002.00	354,489.42	0.79
NATIONAL GRID	100,500.00	1,417,375.85	3.16
SEVERN TRENT	13,686.00	447,202.30	1.00
UNITED UTILITIES GROUP	35,976.00	504,872.54	1.13
VODAFONE GROUP	112,725.00	362,575.90	0.81
		3,086,516.01	6.89
<i>アメリカ合衆国</i>			
ALLIANT ENERGY	6,746.00	427,763.86	0.95
AMEREN CORPORATION	11,551.00	510,669.71	1.14
AMERICAN ELECTRIC POWER	19,900.00	1,171,314.00	2.61
AMERICAN WATER WORKS	9,584.00	582,323.84	1.30
CENTERPOINT ENERGY	11,507.00	212,246.62	0.47
CMS ENERGY	18,112.00	663,985.92	1.48
DOMINION RESOURCES	24,547.00	1,687,851.72	3.76
DTE ENERGY	8,365.00	682,500.35	1.52
DUKE ENERGY	20,869.00	1,509,663.46	3.36
EDISON INTERNATIONAL	14,587.00	886,597.86	1.98
ENTERGY	10,340.00	716,562.00	1.60
EVERSOURCE ENERGY	13,959.00	725,588.82	1.62
EXELON	30,688.00	856,502.08	1.91
FIRSTENERGY	13,920.00	453,652.80	1.01
ITC HOLDINGS	5,975.00	233,144.50	0.52
NEXTERA ENERGY	18,169.00	1,902,475.99	4.23
NISOURCE	14,721.00	291,181.38	0.65
OGE ENERGY	6,784.00	181,946.88	0.41
PG & E	20,632.00	1,118,460.72	2.50
PINNACLE WEST CAPITAL	5,679.00	370,611.54	0.83
PPL	28,533.00	980,108.55	2.19
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GROUP	22,974.00	897,134.70	2.00
SEMPRA ENERGY	10,248.00	983,910.48	2.20
SOUTHERN COMPANY	19,367.00	916,833.78	2.05
VENTAS	8,216.00	464,286.16	1.04
WEC ENERGY GROUP	16,955.00	886,407.40	1.98
WELLTOWER	6,822.00	466,420.14	1.04
XCEL ENERGY	23,593.00	858,549.27	1.92
		21,638,694.53	48.27
投資有価証券合計		43,340,362.03	96.69
現金預金		4,787,377.58	10.68
当座借越		(3,267,651.82)	(7.29)
その他の純負債		(37,621.22)	(0.08)
純資産合計		44,822,466.57	100.00

(B) マネー・マーケット・マザーファンド
25頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第22期》決算日2015年11月20日

[計算期間：2015年5月21日～2015年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第22期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
18期(2013年11月20日)	10,178		0.0	87.7	—	2,850
19期(2014年5月20日)	10,180		0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183		0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183		0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185		0.0	91.2	—	27,834

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2015年5月20日	10,183		—	89.3	—
5月末	10,183		0.0	90.6	—
6月末	10,183		0.0	93.0	—
7月末	10,183		0.0	95.8	—
8月末	10,184		0.0	95.3	—
9月末	10,184		0.0	56.4	—
10月末	10,184		0.0	91.0	—
(期 末)					
2015年11月20日	10,185		0.0	91.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

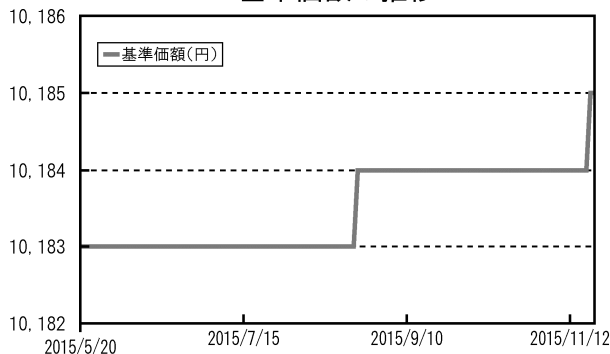
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

・期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年11月20日のコール・レートは0.077%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したことにより基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年 5 月21日～2015年11月20日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2015年 5 月21日～2015年11月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 131, 267, 396	千円 98, 511, 004 (9, 120, 000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2015年 5 月21日～2015年11月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	36, 256	17, 599	48. 5	3, 500	2, 100	60. 0
現先取引(公社債)	95, 010	11, 003	11. 6	95, 010	11, 003	11. 6

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 U F J モルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2015年11月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	25,386,350	25,387,817	91.2	—	—	—	91.2
	(24,840,000)	(24,841,225)	(89.2)	(—)	(—)	(—)	(89.2)
合 計	25,386,350	25,387,817	91.2	—	—	—	91.2
	(24,840,000)	(24,841,225)	(89.2)	(—)	(—)	(—)	(89.2)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第554回国庫短期証券	—	3,110,000	3,110,000	2015/11/30	
第555回国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,000	2015/12/7	
第557回国庫短期証券	—	3,640,000	3,640,000	2015/12/14	
第561回国庫短期証券	—	90,000	90,004	2016/1/12	
第563回国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,280	2016/1/18	
第564回国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,210	2016/1/25	
第566回国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,261	2016/2/1	
第567回国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,090	2016/2/8	
第568回国庫短期証券	—	2,500,000	2,500,380	2016/2/15	
第336回利付国債(2年)	0.1	300,000	300,051	2016/1/15	
第340回利付国債(2年)	0.1	62,600	62,636	2016/5/15	
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,079	2016/7/15	
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,825	2016/8/15	
合 計		25,386,350	25,387,817		

○投資信託財産の構成

(2015年11月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比	率	
公社債	千円		%	
	25,387,817		91.2	
コール・ローン等、その他	2,446,214		8.8	
投資信託財産総額	27,834,031		100.0	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,834,031,140
コール・ローン等	2,446,046,790
公社債(評価額)	25,387,817,093
未収利息	58,164
前払費用	109,093
(B) 負債	562
未払解約金	562
(C) 純資産総額(A-B)	27,834,030,578
元本	27,329,169,583
次期繰越損益金	504,860,995
(D) 受益権総口数	27,329,169,583口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,185円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,924,361,734円
 期中追加設定元本額 26,414,042,501円
 期中一部解約元本額 1,009,234,652円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0185円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	297,790,994円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	14,525,380円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,757,576円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブルファンド>	414,316,230円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	128,906円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーブル・ファンド	2,017,196円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	23,960,741円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	383,682円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーブルファンド>	8,771,978円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円

○損益の状況 (2015年5月21日～2015年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	985,144
受取利息	985,144
(B) 有価証券売買損益	1,172,965
売買益	1,359,890
売買損	△ 186,925
(C) 当期損益金(A+B)	2,158,109
(D) 前期繰越損益金	35,231,293
(E) 追加信託差損益金	485,984,607
(F) 解約差損益金	△ 18,513,014
(G) 計(C+D+E+F)	504,860,995
次期繰越損益金(G)	504,860,995

- (注)(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注)(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注)(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	3,037,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	374,779円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブールファンド>	38,911,455円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	1,784,459円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブールファンド>	3,492,263円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	1,285,463円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	1,147,224円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
三菱UFJ /UBS グローバル好利回CBファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	0円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソ> (毎月分配型)	31,229,335円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	168,137円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	276,237円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	89,380円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	1,554,984円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	2,668,957円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	688,506円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,653,886円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	252,058円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	3,908,079円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	581,687円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マナーブールファンドA>	112,318,894円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マナーブールファンドB>	980,017円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ / UBS グローバル好利回CBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,674,507円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	658,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,570円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8,585,548円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円
N a v i o マナーブールファンド	1,883,381円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マナーブールファンド (FOFs 用) (適格機関投資家限定)	102,821円
MUAM トピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs 用) (適格機関投資家限定)	7,644,146円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	1,242,825,788円
三菱UFJ / AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	918,198円

PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	138,468円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,804円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	10,531,117,458円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	112,195,605円
MUAM トピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	195,410,633円
三菱UFJ バランス・イノベーション (新興国投資型)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)	13,274,970,563円
三菱UFJ グローバル好利回りCBファンド2013-03 (円ヘッジ) (限定追加型)	343,676,356円
合計	27,329,169,583円

【お 知 ら せ】

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2015年7月1日)